


政策3 近隣自治体・大学等との連携協力

施策1 大学等との連携協力

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
官学連携推進事業				政策推進課
予算科目		決算額(円)		
会計	款	項	目	1,460
一般	2	1	6	
環境講演会(5月31日実施)				
				
目的				
京都府立大学をはじめとする大学と連携協力し、行政課題を解決することにより、事業の効果的・効率的な推進を図ります。				
内容				
京都府立大学をはじめとする大学と連携協力し、様々な行政課題に対応します。				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
京都府立大学との連携協力事業数を増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
14事業 (平成23年度)	目標	12事業	12事業	14事業	15事業	15事業
	実績	14事業	12事業	11事業	9事業	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 大学と庁内の各所属との連絡調整を随時行いました。 主な連携協力事業としては、持続可能な都市発展に向けた環境政策とその財政運営に関する共同研究、食育推進委員会、地域公共交通会議、地域文化セミナー等がありました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できなかったが、最終目標は達成する見込み				
<ul style="list-style-type: none"> 京都府立大学と連携を行うのに適切な事業が平成26年度は少なかったものの、事業の内容に応じ連携協力、包括協定を提携している大学等研究機関との連携について積極的に情報収集・情報提供を行いました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に係る連携希望が多様化しており、連携に向け、大学等研究機関との綿密な事前調整が必要となっています。 連携に向けた調整が円滑に行われるよう、より積極的に庁内・大学の情報収集、庁内への情報提供に努めます。 						

政策3 近隣自治体・大学等との連携協力


施策1 大学等との連携協力

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
広域行政事業				政策推進課
予算科目		決算額(円)		
会計	款	項	目	852,000
一般	2	1	6	
目的				
広域に渡る課題に取り組み、事業の展開と検討を行います。				
内容				
広域的な連携組織である歴史街道推進協議会や乙訓地域分科会などにおいて、広域的な事業の展開と検討を行います。				
広報誌「乙訓地域分科会だよりvol. 11」 				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
乙訓地域分科会での広域行政の調査研究の内容について、広報紙やホームページなどで市民へ情報を提供します。						
現状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
12月に乙訓地域分科会だよりを発行、ホームページで情報を公開 (平成22年度)	目標	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします
	実績	12月に乙訓地域分科会だよりを発行、ホームページで情報を公開	12月に乙訓地域分科会だよりを発行、ホームページで情報を公開	12月に乙訓地域分科会だよりを発行、ホームページで情報を公開	12月に乙訓地域分科会だよりを発行、ホームページで情報を公開	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 歴史街道推進協議会の実施する事業に参画し、長岡京市のイベント等の広報を行いました。 乙訓2市1町と京都府で構成している京都南部地域行政改革推進会議乙訓地域分科会では、合併先進地の視察や広域行政についての研修会を実施し、合併問題等の広域行政について広報を行いました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた(目標の80%~100%)				
<ul style="list-style-type: none"> 歴史街道推進協議会の実施する事業に参画し、歴史街道観光ボランティアガイド定点案内(10月4日~11月3日の土・日・祝日)を実施しました。また、歴史街道推進協議会と協力し、長岡京市で開催されるイベントなどを8月発行の「魅力再発見西国街道リーフレット」や11月発行の阪急沿線紙「TOKK」において周知を図りました。 乙訓2市1町と京都府で構成している京都南部地域行政改革推進会議乙訓地域分科会において、乙訓地区の広域的な課題の情報の共有と対応を検討するために、職員研修会「基礎自治体の行政運営人口減少社会のなかで行政職員に求められていること」の開催や広域行政についての広報(乙訓地域分科会だよりVol. 11号)の発行、乙訓地域分科会ホームページによる情報提供を行いました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 社会のグローバル化だけではなく、京都縦貫自動車道の全面開通や阪急西山天王山駅の開業などから、生活圏域の広がりや、商業エリアの拡大が続いており、広域的課題に対応する広域連携の重要性は増しています。 同時に、広域的課題に対応するには、行政のみではなく、市民や企業等様々な主体と課題意識を共有し、協働して課題解決を行うことも不可欠です。市民に広域連携の重要性を周知するための広報活動の充実と他団体との連携をより深める必要があります。 歴史街道推進協議会をはじめとする各種団体との連携機会も増えており、各団体との情報共有・連携事業の進展に向けた情報提供に努めます。 						

政策3 近隣自治体・大学等との連携協力

施策1 大学等との連携協力

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
大河ドラマ（細川ガラシャ）誘致活動事業				政策推進課
予算科目		決算額(円)		
会計	款	項	目	417,700
一般	2	1	6	
目的				
市民とともに本市のより一層の地域振興、観光振興、文化発信を目的として、細川ガラシャとガラシャをめぐる人々を主人公とする大河ドラマを誘致します。				
内容				
ガラシャ、光秀、細川幽斎、忠興ゆかりの市町と各市町の商工・観光団体で協議会を構成し、連携しながら誘致を進めます。				
NHK大河ドラマ誘致推進協議会総会				
				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
NHK大河ドラマ誘致に賛同する署名数を増やします。（NHK大河ドラマ誘致推進協議会で目標とする筆数を達成するため、本市の署名数を増やします。）（累計）						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
2,084 (平成23年度)	目標	/	/	26,000	30,000	34,000
	実績	/	/	33,382	37,353	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 細川ガラシャとその父明智光秀達を主人公とするNHK大河ドラマを誘致するため設立した「大河ドラマ誘致推進協議会」に、平成26年度は福井県若狭町が加わり10市2町で誘致活動を進めました。 各市町でNHK大河ドラマを誘致するため、署名活動を行いました（平成26年度全体合計：16,634筆（内長岡京市分3,975筆））。 協議会の各構成団体が開催するガラシャ、光秀、幽斎、忠興に関するイベントへガラシャ祭のマスコットキャラクターである「お玉ちゃん」や他団体のご当地キャラを招き、イベントの集客に努めました。 NHK大河ドラマ誘致推進協議会で作成したパンフレットやグッズを活用し、誘致PRを行いました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
<ul style="list-style-type: none"> 1年間の署名数は昨年に比べ減っています。署名活動も4年目に入り、新規で署名してもらうことが難しい状態になっています。 NHK大河ドラマ誘致推進協議会の構成団体に福井県若狭町が加わりより広く誘致活動を行うことが出来ました。 協議会メンバーによる要望活動も継続して行いました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> NHK大河ドラマ誘致活動をより多くの人に知ってもらうために新しい試みが必要です。 平成25年度から開始した各種SNS等ICTを活用した広報活動を更に強化し、誘致活動を知らない人達にもPRできるよう努めます。 						